



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2019th

令和元年 11月30日

12月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小

Hand in hands, Shining Smiles, We ♥ TKG



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345

Fax 045-761-9392

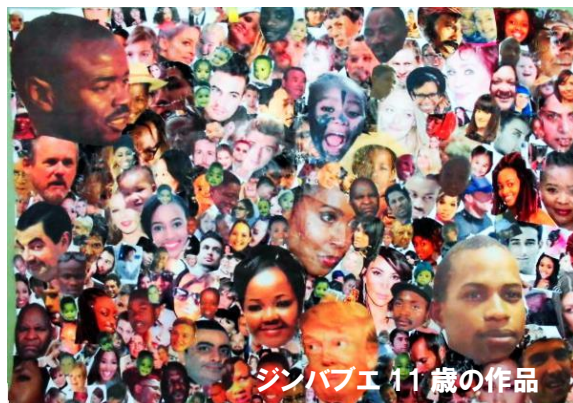
URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>

滝頭小 検索

同じじゃないから強いんだ

校長 鶴飼 数夫

来週から人権週間が始まります。これは、1948年12月10日に国連で採択された世界人権宣言にちなんで、毎年この季節に設定しています。先ずは3日(火)には、パリンピアンを講師としてお招きし、自らの体験に基づく講演会と車いすバスケットボールの実演と体験会を行います。この様子は、来月号で紹介いたします。また、本年度本校は、磯子区の人権教育実践推進校として「友達や地域の人々と積極的にかかわり、めあてや問題解決に取り組む子」をテーマに、これまでの本校の教育実践を再構築してきました。5日(木)には、広く市内の先生方をお招きして、授業公開と研究協議を行います。分科会テーマは、①学びあう学級集団づくり②授業のユニバーサルデザイン化③国際理解④チーム学年経営の4つです。特に本年度重点化してきたチーム学年経営と国際教室の実践について、他校の多くの先生方から示唆をいただければと思っています。



その準備として、本郷台にある「県立地球市民かながわプラザ(あーすぷらざ)」から、世界中の子どもたちが描いた絵を何枚かいただきました。どの作品もその出来映えと感性の素晴らしさに心を奪われてしまうようなものです。国際教室を中心とした校内数箇所に掲示しておきますので、是非ご覧ください。その中のひとつが、右上の写真です。写真コラージュという手法で様々な人種の顔写真を画面いっぱいに敷き詰めてあります。これは、アフリカ大陸南部に位置するジンバブエ共和国の11歳の子どもが描いた作品です。この国は、19世紀からイギリスの植民地として統治され、1960年代から70年代にかけての激しい内戦を経て独立しました。しかし、現在でも尚、差別や貧困の問題が大きいのしかかっています。そんな歴史をもつ国の小学生が描いたこの作品に込められた思いを私たちはどのように受け止めたらよいのでしょうか。

折しも、そのジンバブエの隣国である南アフリカ共和国が優勝したラグビーワールドカップ日本大会は記憶に新しいところです。南アフリカ共和国も25年ほど前までは、長くアパルトヘイト(人種隔離政策)が存在し、白人による有色人種への激しい差別が続いていました。その国をラグビーを通して一つにまとめようと考えたのがノーベル平和賞を受賞したネルソン=マンデラ大統領です。もともとイギリスで発祥し、白人が愛していたラグビーを国内に根付かせ、ついには1995年に自国でのワールドカップ開催と初優勝をもたらしました。そして今回の日本大会では、南アフリカ共和国としては初の黒人キャプテンのもと3度目の優勝を果たしました。キャプテンのコリシ選手は決勝戦後「母国は多くの問題を抱えている。でも、環境や人種は違って、目標に向かって一つになれる。私たちは団結すれば、何だってできるんだ。」と訴えました。その強力な意思とチームの結束力を私たちは目の当たりにすることができました。

この大会で大躍進を遂げた我が日本チームも「ONE TEAM」を掲げ、世界中のファンを虜にしました。日本チームも様々な国や人種をルーツにもつメンバーが集まり、ベスト8突破という目標に向かって世界の強豪に立ち向かっていきました。一見バラバラに見える多種多様で強烈な個性が、それぞれの役割を果たし、持ち味を發揮しながら一つになる。そんな姿に胸を熱くさせられました。ダイバーシティ=多様性と共生。これからの学校や会社、そして国そのものが目指すべき姿を彼らの中に学びました。

「同じじゃないから強いんだ。」今大会のスポンサー企業のCMで流れていた言葉が心に残っています。